

# ～透析になっても変わらない生活を～ 自分の部屋でできる腹膜透析



どれどれ～カブかー  
食べごろでないかい？

※やすらぎ農園で施設長が  
一生懸命に育てていたカブです。



社会福祉法人  
**栄和会**

ケアハウスやすらぎ  
(特定施設入居者生活介護)  
生活相談員  
小野寺 貴美



※ご家族からの許可を得て、写真を使用させていただいております。

# Aさんの背景①

- 心筋梗塞の影響により心不全状態だったが、通所サービスを利用しながら持ち家で独居していた
- 心不全が悪化し、A医療機関へ入院。主治医より、自宅では安静にできないため、施設入所をすすめられる⇒H30.9ケアハウス入居  
※k pの家族は道外。札幌市近郊に住む年の離れた妹が時々支援
- ケアハウス(一般)で要支援の認定を受けながら在宅サービスを利用
- お1人での受診などが難しくなり、特定サービスに移行⇒心不全の悪化もあり、安静のために居室外は車椅子対応となる
- R3.3心不全の悪化でA医療機関へ救急搬送⇒腎機能の悪化があり、透析が必要となる。⇒R3.6 B医療機関へ転院

# 腹膜透析開始

- R3.6 腹膜透析(PD)導入
- R3.7 退院し、ケアハウスへ
- R4.2 ケアハウスでコロナウイルスのクラスター発生⇒本人も陽性？！
- R5.2 初めてのPDトラブル⇒感染  
⇒血液透析の検討、シャント作成⇒退去？
- R5.3 腹膜透析の再開⇒退院し、ケアハウスへ
- R5.4 カテーテルを自己抜去してしまい入院  
⇒整復術を実施し、腹膜透析再開⇒退院し、ケアハウスへ
- R5.4 短期間でのトラブルで体力低下や認知症の進行があり、  
管理が困難となる。⇒長期療養となり、退去。



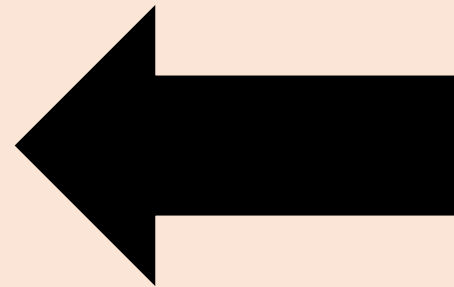
# 腹膜透析 (PD) ってなに？普通の透析と何が違う？

透析 (HD：血液透析)

シャントと呼ばれる動脈と静脈をつないだ人工血管を作成。

針を刺し、血液をポンプで一度体外に取り出し、ダイアライザー（透析器）でろ過し、きれいな血液にしてから体内に戻す方法。

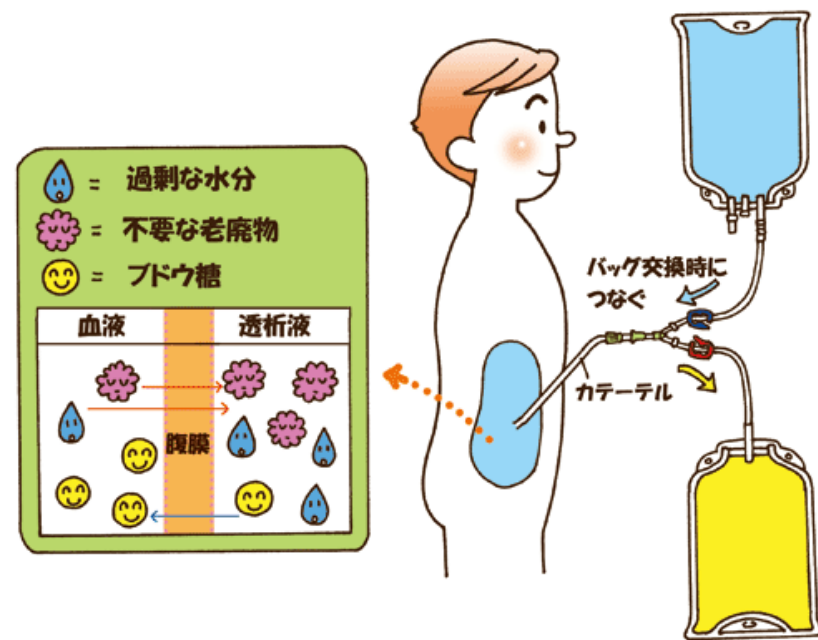
透析専門医のいる医療機関で行われ、1回3～5時間、週2～3回（1～2日おき）程度実施。



# 腹膜透析（PD）は、

腹部にカテーテルを留置する手術を行います。  
そのカテーテルを介して腹腔内に透析液を注入し自分の腹膜を利用して透析を行う治療法です。  
基本的に、毎日ご自宅で治療を行っていただく在宅治療になるので、通院は1～2回/月ほどで血液透析と比べ時間的制約が少ないです。確かに腹膜炎などの合併症がおこることもあります。血液透析でもバスキュラーアクセストラブルなど様々な合併症がおこることがありますし、腹膜透析には身体的な負担が少ない・残腎機能が保持されやすいなどの利点もたくさんあります。北楡病院ホームページより引用

※バスキュラーアクセストラブル⇒シャント狭窄や閉塞、感染など



# 簡単に実演…！！

注意事項！！

感染を防ぐために…

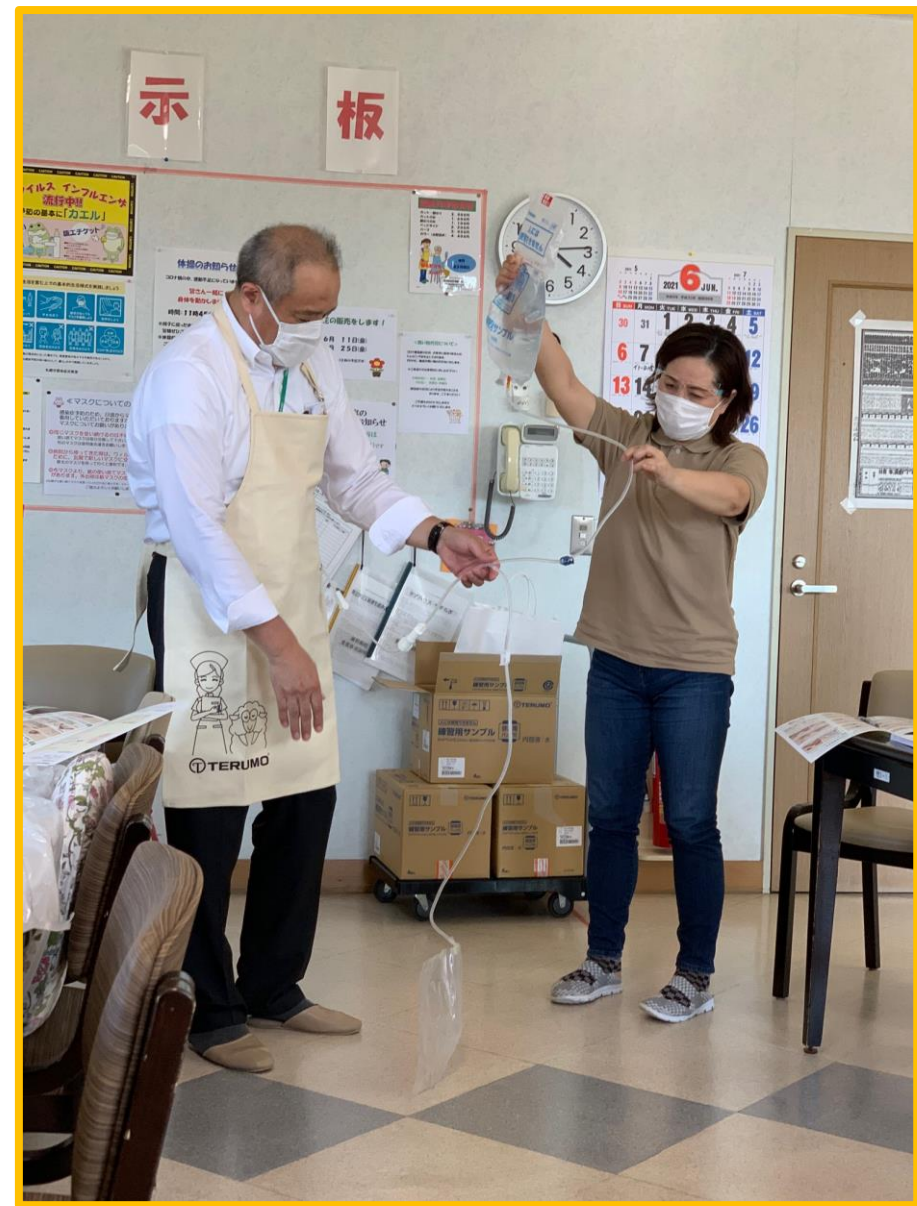
- ①介助者は手洗い、手指消毒を実施。マスクを着用。
- ②風でほこりなど舞ってしまう為、窓は閉める
- ③接続部分を(ジョイント)を開けるときは不潔にしないように蓋などは下を向けながら開ける。



# 退院までにしたこと

- B医療機関のMswや家族とこまめに情報共有
- 協力してくれる訪問看護ステーションの問い合わせ
- 医療保険の勉強
- 職員間でのカンファレンス
- テルモ担当者からの情報収集、担当者による説明会の実施
- 対応できる職種を介護保険課へ確認  
⇒当初は医療職ではなくても可能という病院の判断のもと、介護保険課も問題ないという見解であった。その後、保健所へ確認することとなり札幌市保健所医療政策課へ確認。この時点で国から腹膜透析の通知がなく、通知がない=医療行為になると…

※訪問看護特別指示書⇒退院直後などで週4日以上  
の訪問が必要と主治医が認めた場合に認められる



テルモ透析担当：川合様

施設看護師：田村

# 退院までに準備したもの



加温機  
⇒透析液を温める機械



ペットスケール  
⇒お腹から出したあとの透析液を計測  
※家族がAmazonで手配



ばねばかり  
⇒余分な透析液を計測する  
※テルモ担当者に譲っていただいた



点滴スタンド  
⇒透析液をつるす  
※テルモ担当者に譲っていただいた

衛生用品  
⇒カテーテルの入り口を保護、固定  
※訪問看護ステーションから購入



透析液など  
※テルモ物流  
センターから届く



Aさんの1日 午前

起床 7:20

朝食 7:30~8:30

体調確認・透析9:30~10:20  
バイタルチェック、体重測定、浮腫の観察、  
排便チェック、前日分の透析液を20~30分かけて  
排液、排液量の計測  
体重測定

※PDノートに記入する

昼食 12:00~13:00



92歳 要介護4

## Aさんの1日 午後

体調確認・透析16:00~16:40  
透析液を注入、カテーテル固定

夕食17:30~18:30

夕食後はテレビタイム

※透析は週5回

※週2回のシャワー浴



92歳 要介護4

# なぜケアハウスでできた？



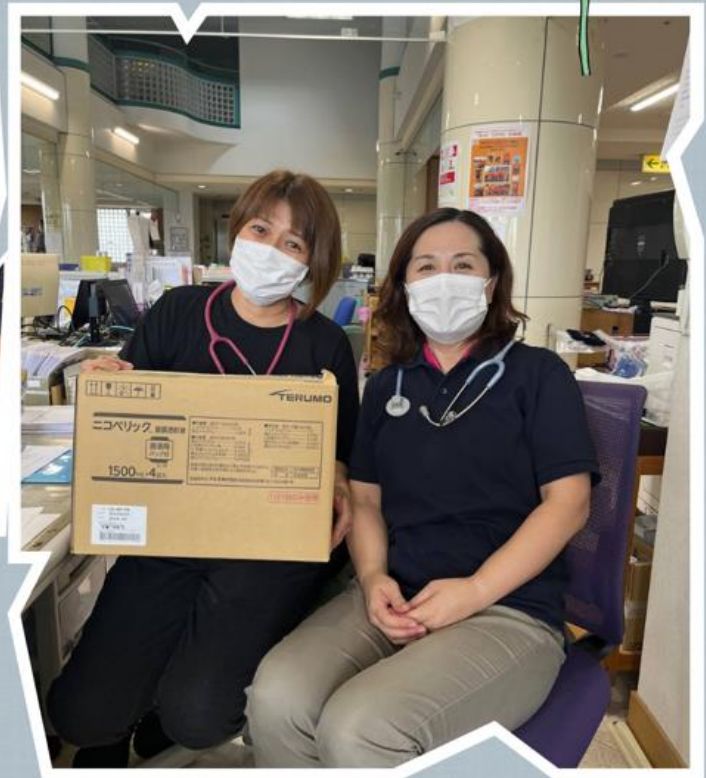
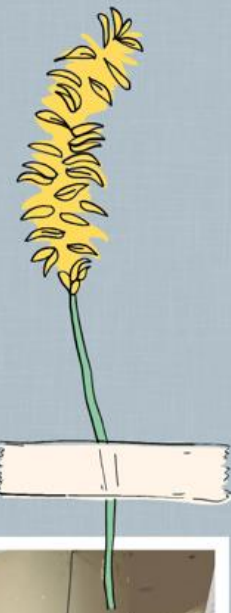
- 透析物品が新しくなり、使いやすく、感染しにくいものになった
- 施設の職員体制に合わせた透析対応にできた
- 家族の理解と協力
- 本人の協力
- 医療機関の手厚いバックアップ
- 訪問看護ステーション春の詩の協力
- 血液透析より食事管理がしやすかった
- 全職種との理解と協力
- PDはアバウトでも良い！？



本人の思い

# オフショット📷

頑張りました👌



# 良かったこと

本人にとって

- やすらぎに帰れた
- やすらぎで透析をしながら生活できた
- 体調に合わせて、過ごすことができた
- 出かけなくても透析できた
- ご飯もほとんど前と同じだった

職員にとって

- 全職種で腹膜透析という新たな技術を学び、挑戦できた
- ご本人と過ごせる時間がのびた
- k pは遠方だったがメールやz o o mなど通して情報共有ができた

- A病院では透析をしたとしても心臓に負担がかかると言われて、余命1年程と言われたが92歳を迎えることができた
- 本人のやりたいようにできた

家族



# 課題…

## 施設側

- 看護師の勤務にしぼりがでてしまう
- 看護師がいないと透析ができない=看護師の精神的負担が大きい
- B医療機関が全面的にバックアップしてくれていたが、受け入れが出来なかった場合に腹膜透析を実施している医療機関が少ない
- 家族が遠方、更にコロナ渦で会える機会がなく、本人の体調変化について共有が難しかった

## 本人・家族

- 1日800ccの水分制限がつかかった
- 透析に関する医療費はかからないが、その他の費用がかかる(訪問看護の利用料、衛生用品)

## 医療機関

- 高齢者にとって体への負担が少ないが、自己管理できる人がいない⇒導入にならない
- 対応してもらえる介護保険事業所が少ない(初めてのことに對して不安が大きい)

# Life history

Mt. Youtei

1930年－12月喜茂別町に生まれる

1972年－札幌へ転居

2018年－9月ケアハウス入居

2021年－6月腹膜透析開始

2023年－4月退去⇒長期療養



# 幸せな時間でしたか？



It is never enough to know that if you really end up the way you want, you will be that I remember to make mistakes. It reminds me that for every opportunity.



!!清聴ありがとうございました!!